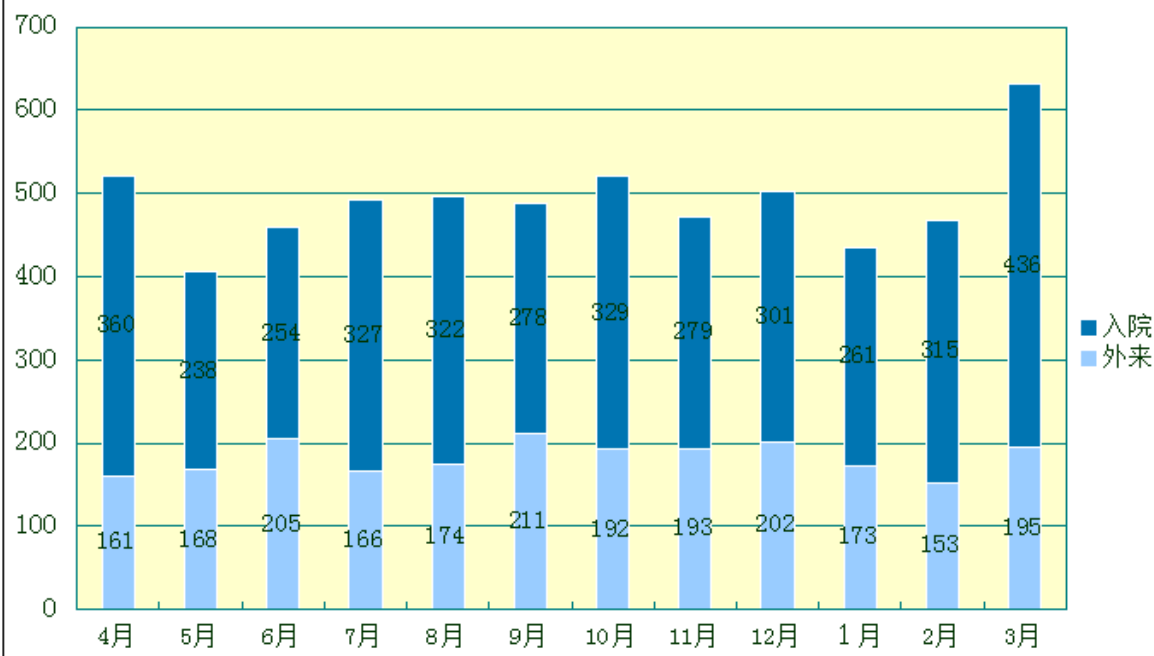


# 地域医療連携室たより vol.6

熊本も梅雨入りしジメジメした日が続きますが、雨に濡れる紫陽花はとてもキレイですね。  
 時々「医療ソーシャルワーカーって、どんなことをしているの？」という質問を受けることがあります。  
 その為、今回の地域医療連携室たよりは、平成27年度医療ソーシャルワーカーの実績をご報告致します。

平成27年度医療ソーシャルワーカー対応件数(入院・外来) 図1



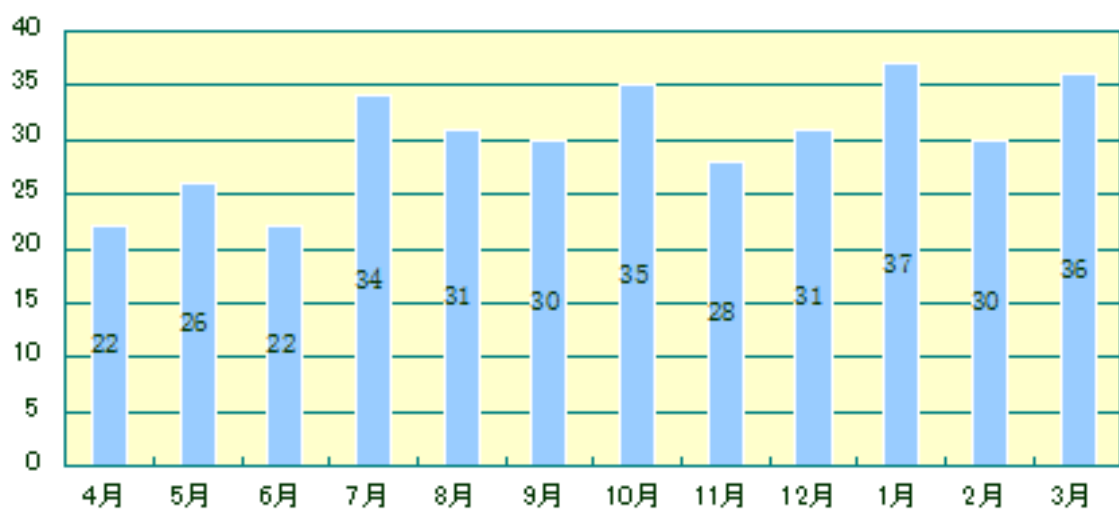
医療ソーシャルワーカー（以下MSW）の対応件数は、月平均308件の入院患者に対して支援を行っており、3月が一番多く436件でした。1日あたり平均13件の対応を行っていることとなります。（図1）

しかし、1人の患者さんに対して、家族・担当ケアマネジャー・訪問看護師等の外部機関や院内関係者など、1日のうちに何人もの方々に連絡・調整を行っていますので、実際の対応件数はこれより多いと思われます。

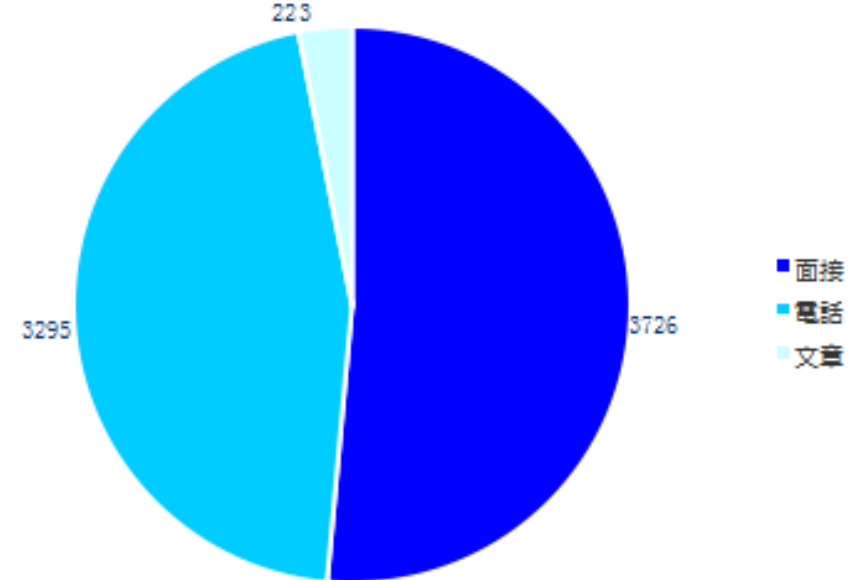
入院中の退院支援対応人数は、月の平均が30件となっています。（図2）

対応方法としては、直接会っての対応が3726件・電話対応が3295件・FAXや書類の郵送等の文章での対応が223件となっています。（図3）可能な限り、院内・院外の関係者との顔の見える連携に努めています。

平成27年度医療ソーシャルワーカー退院支援対応人数 図2



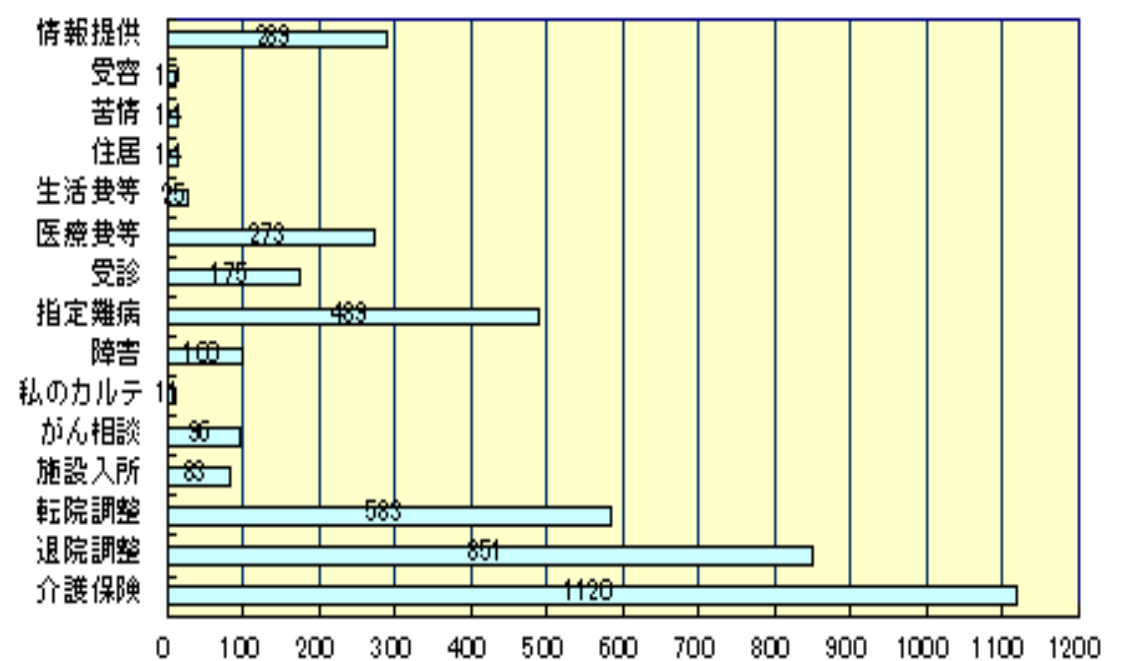
H27年度医療ソーシャルワーカー対応方法 図3



対応内容については、「介護保険」に関することが1120件、「退院調整」851件、「転院調整」583件に関することが上位を占めています。入院されている多くのかたが、介護保険の認定を受けています。退院支援を行う上で、介護保険はとても重要な制度と言えます。

ついで多いのは「指定難病」489件です。内訳は、新規申請に関すること以上に、臨床調査個人票に関する問い合わせについての対応のほうが多いです。不備が多いということは、認定がおりるまでに時間がかかるということです。認定結果がおり、患者さんが安心して治療ができるためにも、可能な限り空欄のないように記載をお願いいたします。この図には示していませんが、項目に該当しない「その他」の対応件数は、1881件と一番多いです。内容は、退院後の外来でのフォローアップや外部関係者との情報交換、その情報を院内スタッフへ情報提供等があります。

平成27年度医療ソーシャルワーカー対応内容 図4



昨年度までは、MSW 2名で相談業務を行っており、「連絡が取れない！」とのご指摘も多く、大変ご迷惑をおかけしました。

今年度からは、MSWが1名増員され3名体制となりました。

しかし、高齢で一人暮らし、がんなどの患者さんが増えており、退院支援は今後ますます重要になっています。退院支援はMSWだけがするものではありません。

安心して患者さんが退院できるためには、皆さんの専門性が必要です。一緒に頑張りましょう！！